

令和3年度第2回多摩区支え合いのまちづくり推進会議  
御意見取りまとめシート

	第6期多摩区地域福祉計画についての御意見・御質問	所属・氏名	事務局からの回答
1	<p>多摩区子育て支援パスポートを持つ人を対象にイベント開催をする時、商品の割引又は特別のサービスを受けられる。 又、子育てまつり開催には参加し会場内ブースでパスポート持参者に福引抽選会に加わってもらい交流を深めている。</p>	<p>多摩区商店街連合会 安陪 修司</p>	<p>—</p>
2	<p>区の地域福祉計画と連携して区社協が実施している地域福祉活動計画について、行う事業等があるので、評価方法などを参考にさせていただけたらと思います。</p>	<p>川崎市多摩区社会福祉協議会地域課 内田 由美子</p>	<p>区役所と区社協の取組の方向性について、事業推進についてだけでなく評価についても連携していけるよう、随時情報共有させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
3	<p>良い計画ですが新型コロナが流行しなければ成果が出たでしょう。</p>	<p>中野島地区社会福祉協議会 奥沢 邦雄</p>	<p>—</p>
4	<p>令和3年度評価においては、参加型評価は行いますか？「多摩区役所の方向性」の3点が該当する気もしていますが…。</p>	<p>学識経験者(田園調布学園大学) 和 秀俊</p>	<p>令和3年度事業評価について、区民と連携して取り組んでいる事業については、行政側からの評価だけでなく、連携した区民がどのように受け止めているかについて可能な限り聞き取りを行い、評価に反映させるように各所管課あて通知しています。 令和3年度事業評価の取りまとめの際は、参加型評価の視点を取り入れて評価をまとめていきます。</p>
5	<p>基本目標に沿って取組は計画されていると思う。</p>	<p>生田地区社会福祉協議会 小峰 信子</p>	<p>—</p>
6	<p>現状、多摩区で取り組んでいる活動に参加しながら、計画について評価をしていきたいと思っています。(今年度10月1日から多摩区の担当となり活動をスタートさせたため)</p>	<p>多摩区地域自立支援協議会 田子 洋平</p>	<p>—</p>
7	<p>令和3年度において、川崎市の基本理念と基本目標はコロナ禍にあって、民生委員としての活動はできていないと思う。 多摩区の基本理念、基本目標はやれる事、できる事を取組んでいたように思う。</p>	<p>多摩区民生委員児童委員協議会 松澤 明美</p>	<p>—</p>
8	<p>福祉計画はかなり広い範囲で課題や目標が記述されており、特に問題はありませぬ。活発な推進を期待しています。 評価の数値化は、評価の感想に近く(定性的)で数字だけの判断では難しいと思います。事業をきちんと実施したということに留まらず、参加者、対象者の内容の配慮が必要だと思います。</p>	<p>多摩区町会連合会 松本 英嗣</p>	<p>これまでの会議で、地域福祉計画の評価手法への御意見を度々いただいております。 地域包括ケアシステムの推進の成果は数値化できない部分が多く、評価手法についても様々な考え方がありますが、今後、多摩区では「参加型評価」の考え方を取り入れて評価を行ってまいります。 これまでの実績値や行政側の考えだけではなく、連携して事業を実施した区民がどのように受け止めているかを加味して評価する「参加型評価」の手法を用い、様々な視点を網羅した評価を行ってまいります。</p>
9	<p>「第6期多摩区地域福祉計画」について、どれだけの区民が周知しているか疑問です。区民への一層のPR活動を期待します。</p>	<p>川崎市多摩区社会福祉協議会 吉田 紀代子</p>	<p>地域福祉計画の周知は限られた区民に留まっており、区民全般に浸透するためには更なる工夫が必要だと考えています。 このため令和3年度は、多摩区のホームページを活用したり、多摩区役所1階アトリウムで行った2回のパネル展示に合わせて「第6期多摩区地域福祉計画」を配架することで、幅広い区民の皆様に広報することができました。 次年度以降も様々な手法を用いて周知していきます。</p>

	令和3年度地域包括ケアシステム推進のための取組についての御意見・御質問	所属・氏名	事務局からの回答
1	種々の催しに参加する事と子育て中の御家庭の皆様との交流を通じて何か支援をできるかどうか検討中。	多摩区商店街連合会 安陪 修司	—
2	コロナにより取り組みが影響を受けた結果等を知りたい。今後の報告待ち？ 各地区で市民はどの程度これらの取組を知っているのだろうか？	多摩区子ども総合支援連携会議 有北 いくこ	コロナ禍での取組への影響については、令和4年度第1回支え合いのまちづくり推進会議で、令和3年度第6期多摩区地域福祉計画事業評価の中で御説明していきます。 地域包括ケアシステム推進にかかる取組の周知については、広報誌の発行やフォーラム等の開催、多摩区役所でのパネル展示等、様々な手法を用いて行っています。 また、令和4年4月からの多摩SDCでのパサージュ・たま作品の常設展示・販売の本格実施に伴い、当該取組をツイッターやフェイスブック、インスタグラム等、多摩SDCの広報ツールを用いて情報発信していく予定となっており、更に多くの区民の皆様が取組を知っていただく工夫をしています。
3	今年度から検討を重ね準備をされていたTeamSUGEなど、新型コロナの影響で開催できなかったものもあり残念でした。来年度以降、またご協力できたらと思っています。	川崎市多摩区社会福祉協議会地域課 内田 由美子	取組等について逐次情報共有させていただきます。
4	TeamSUGEの開催について、開催される事に期待しております。	菅地区社会福祉協議会 大澤 敏夫	菅地区の取組等について逐次情報共有させていただきます。
5	他の地区の活動を参考に取り入れたいと思います。	中野島地区社会福祉協議会 奥沢 邦雄	—
6	コロナ禍の活動について、できないからできるへの具体的な転換方法がなかなか見つからないため、種々の活動が停滞しています。主催者としてクラスター発生への不安・責任の取り方等種々の課題が克服できずにいます。 ここまでしたらある程度許容されるという具体的な指標があると少しは安心して活動できるかと思えます。	登戸地区社会福祉協議会 木澤 静雄	コロナ禍での取組について、これまでの手法に代わる方法論が確立されない中での活動推進に苦慮されていることと思います。 行政の取組についても制約が生じておりますが、様々な学識の方にコロナ禍における取組について御講演いただき、その中で得た知見を活かしながら、少しでも地域づくりを前進させられるような取組を進めていきます。
7	地域によってばらつきはあるが、それぞれの分野で可能なことを実施していると思われる。	生田地区社会福祉協議会 小峰 信子	—
8	現状の活動に参加をしながら計画、活動について評価をしていきたいと思えます。 (今年度10月1日から多摩区の担当として活動をスタートさせたため)	多摩区地域自立支援協議会 田子 洋平	—
9	どの地区も令和3年度のスケジュール表が空白がめだった。	多摩区民生委員児童委員協議会 松澤 明美	コロナ禍での地域づくりの取組については様々な制約が生じており、これまでと同様に進めることが難しい状況となっておりますが、その中で工夫しながら可能な範囲で取組を進めてきました。 取組内容について資料のみでは詳細まで御説明しきれない状況ですが、各地区ごとの特徴に応じて、年間を通して取組を進めています。
10	各地区の取組は地域の特徴が出ていると思えます。地道な継続が望まれます。 また、各団体が取り組んでいること、目指していることには、素晴らしいものがあると思っています。	多摩区町会連合会 松本 英嗣	—
11	多摩区内 登戸・菅・中野島・稲田・生田地区において、コロナ禍で制約がありながら最小限の行事に努力した年度と思われます。 早くの収束を願い、地域の方々と連携をとりながら行事が推進される事を望みます。	川崎市多摩区社会福祉協議会 吉田 紀代子	—

	配布資料1～10への御意見・御質問	所属・氏名	事務局からの回答
1	催しに参加する事を心がけている。	多摩区商店街連合会 安陪 修司	—
2	シニア向けのスマホ教室について、老人いこいの家でも来年度以降(コロナが落ち着いたら)実施していく予定です。マンツーマンで対応できるようアシスタントボランティアを募っていこうと考えています。その際には、実施する上でのアドバイスなどご指導よろしくお願ひいたします。	川崎市多摩区社会福祉協議会地域課 内田 由美子	必要に応じて情報提供等させていただきます。
3	知らない事業があり、もっとPRが必要と思われる。	中野島地区社会福祉協議会 奥沢 邦雄	効果的な情報発信について更に工夫していきます。
4	コロナ禍でのつながりづくり～できないからできるへ～講演会 →もう少し詳しく説明がほしかった。	多摩区子ども会連合会 小山 富士子	本講演会は講師の口頭説明やデモンストレーションが多く、講演会の詳細をまとめることが難しい内容となっておりますが、別途お問い合わせいただければ講演会の流れや要旨について御説明させていただきます。
5	働き盛りの成・壮年層が余り登場してこないのが気になります。 町会活動でも参加してもらえる工夫をしたいと思っています。	多摩区町会連合会 松本 英嗣	様々なヒアリングの場で度々伺いする御意見で、行政としても成・壮年層の地域活動への参加について課題認識しているところです。 今後の広報、普及啓発活動において、当該年齢層の意識醸成を図るための手法、取組について工夫を重ねていきます。
6	資料3「地ヶアTAMA」のリーフレットは地域内のことが判り易く掲載されています。出来ましたら回覧板で願ひいたします。	川崎市多摩区社会福祉協議会 吉田 紀代子	コロナ禍での町内会回覧に制約がある中、可能な範囲で様々な場で配架してきました。 町内会・自治会への情報提供については、町内会・自治会長あてに3部ずつ送付させていただきました。今後町内会回覧が可能な状況になりましたら調整させていただきます。
	その他の御意見・御質問	所属・氏名	事務局からの回答
1	コロナ禍で保育園の休園や介護スタッフの感染など、担い手不足や運営にもひずみが出ています。 地域でものきなみ地域活動、交流が減り、介護保険申請の電話も多くなっています。	よみうりランド花ハウス 地域包括支援センター 佐久間 真弓	—